

授業科目名	【G】 商法概論		区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
			必修					
科目区分	専門科目							
授業形態	オンライン授業(複合型A)							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	“商法は経済社会の基本ルールです”				担当者	織田 恭一 清水 太郎		
授業概要	【概要】	商法は民事法の中心をなす重要な法律であり、企業への就職や各種国家試験を受験する場合には必須の科目です。その中でも、特に会社法は商事法の中心をなす法律であり、また毎年のように改正が行われていることから分かるように実社会に密着した法律です。そこで、本授業では、履修者が商法全般について広く知識を習得することを目指し、併せて、その他の法律とどのような関わり合いを持っているのか等についても分りやすく概説します。						
	【到達目標】	履修者が、2年次以降に会社法、手形小切手法、商法総則・商行為などを履修するための、商法全般の基礎的理解の習得を目標とします。						
履修条件	第1回の授業に必ず出席してください(授業のガイダンス、授業外学習を含めた学習方法、成績評価方法等を説明します。)							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	商法は民法との関連性があるので、「民法概論」(必修科目)を履修し、その内容をよく理解しておくことが望ましい。							
教科書	「伊藤真の会社法入門」(日本評論社)							
参考書	特にありません							
評価方法	2回の学習到達度確認テスト(それぞれ50%)で評価します。							
フィードバック方法	「学習到達度確認テスト」の答案提出後に、模範解答を作成して履修者へのフィードバックを行い、本授業の内容の理解に役立てます。							
評価基準	授業全般の内容について、よく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与えます。内容の一部について理解や表現が不十分である者はその程度に応じて「B」または「C」とし、内容全般についての理解自体が不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」とします。なお、「学習到達度確認テスト」の欠席など、評価不能の場合には「F」とします。							

授業科目名	【G】 商法概論	区分		開講年次	【G】1	単位数	【G】2
		必修					
授業回数	授業内容						
1	商法概論学習のガイダンス、会社の意義、種類と責任の態様 予習： 会社の種類、責任の態様について(10～25頁)(計90分程度) 復習： 有限責任・無限責任、間接責任・直接責任について徹底理解(計90分程度)						
2	株式会社の設立、株式の意義、資本金制度 予習： 会社の設立、株式、資本金制度(26～48頁)(計90分程度) 復習： 設立手続、株式、資本金制度について徹底理解(計90分程度)						
3	株主の権利と株主平等の原則、投下資本の回収 予習： 株主の権利、株主平等の原則、投下資本の回収(49～56頁)(計90分程度) 復習： 株主平等の原則、投下資本の回収について徹底理解(計90分程度)						
4	株式譲渡自由の原則と例外 予習： 株式譲渡自由の原則と例外、自己株式(56～65頁)(計90分) 復習： 株式譲渡自由の原則と例外について徹底理解(計90分程度)						
5	会社の機関とその役割、株主総会 予習： 機関の内容と株主総会(66～78頁)(計90分程度) 復習： 議決権の内容と総会屋対策について徹底理解(計90分程度)						
6	取締役会と取締役の義務 予習： 取締役会の権限と取締役の義務(78～88頁)(計90分) 復習： 善管注意義務と忠実義務について徹底理解(計90分程度)						
7	取締役の責任、代表取締役、表見代表取締役 予習： (代表)取締役の責任等(88～98頁)(計90分程度) 復習： 取締役の責任と経営判断の原則等について徹底理解(計90分程度)						
8	第1回学習到達度確認テスト及び解説 予習： 第1回～第7回(1～98頁)(計90分程度) 復習： 第1回学習到達度確認テスト及び解説の徹底理解(計90分程度)						
9	監査役・監査役会、指名委員会等設置会社と監査等委員会設置会社 予習： 監査役、両会社の内容について(99～110頁)(計90分程度) 復習： 監査役、両会社と通常会社との相違について徹底理解(計90分程度)						
10	商号、名板貸責任、商業登記 予習： 商号、名板貸責任、商業登記(148～155頁)(計90分程度) 復習： 名板貸責任、商業登記の効力について徹底理解(計90分程度)						
11	支配人、表見支配人、営業譲渡 予習： 支配人、表見支配人、営業譲渡(155～161頁)(計90分) 復習： 支配人、表見支配人について徹底理解(計90分)						
12	有価証券の意義、手形と小切手の違い 予習： 約束手形、為替手形、小切手の内容(174～183頁)(計90分) 復習： 手形と小切手の相違について徹底理解(計90分)						
13	手形行為の性質と権利の発生 予習： 手形行為の性質、交付欠缺理論(183～194頁)(計90分程度) 復習： 手形行為の性質等について徹底理解(計90分程度)						
14	手形の裏書、善意者保護の制度 予習： 裏書の効力、人的抗弁の切断(195～206頁)(計90分) 復習： 裏書の効力、人的抗弁の切断等について徹底理解(計90分程度)						
15	第2回学習到達度確認テスト及び解説 予習： 第9回から第14回(99～206頁)(計90分程度) 復習： 第2回学習到達度確認テスト及び解説の徹底理解(計90分程度)						
その他	開講学期によって授業形態が異なります。時間割等で確認をしてください。						